

「トンガ王国における歯科保健プログラム」

南太平洋医療隊 河村康二

【要約】

1998年より、幼稚園、小学校を対象に口腔環境の改善をはかるため予防歯科保健プログラムを展開している。

初期に来島した時、トンガ王立バイオラ病院において保存可能な永久歯の抜歯、器具材料不足による保存処置の不備、予防歯科及び教育の不足を眼にした。

歯科診療主体のボランティア活動を行うより予防歯科保健中心の活動の方がより有意義と考え、保存処置の為の器具材料の供給を行うと共に、トンガの歯科室に呼びかけ幼稚園、小学校における歯科保健事業を展開した。2001年我々は齲蝕・生活習慣・食事調査を行った。2004年現在本島2幼稚園、9小学校、リフカ島3幼稚園、2小学校で実施している。その主たる活動は歯科健診、歯科保健指導、フッ素洗口である。

現在歯科健診は齲蝕、歯肉炎についてチェックし、未処置者に対し治療勧告書による治療勧告を手渡し、パネル・紙芝居による保健指導後、歯ブラシと歯磨剤使用して口腔衛生指導に続いて、フッ素でうがいをする。又トンガの歯科医師が中心となり各施設を1週間に一度巡回している。今後はより強化した齲蝕・歯肉炎の減少の為の歯科保健プログラムを実践しトンガの歯科医師が自分達で実践し自立できるよう支援していきたい。

表1 12歳児永久歯う蝕有病状況

	性別	人数	健全歯	DMFT	処置歯	未処置歯	喪失歯
日本	男	31	22.94	2.10	1.65	0.45	-
	女	33	23.30	2.76	1.88	0.88	-
トンガ 総計	男	51	22.27	4.10	0.18	3.88	0.12
	女	25	21.96	5.48	0.08	5.24	0.16
本島	男	45	21.91	4.40	0.18	4.20	0.11
	女	21	21.52	5.81	0.10	5.57	0.14
Ha'apai島	男	6	25.00	1.83	0.17	1.50	0.17
	女	4	24.25	3.75	0.00	3.50	0.25

表1 ; 2001年齲蝕・食事調査結果

【謝辞】

南太平洋医療隊の活動にご支援・ご協力をいただいた日本大学松戸歯学部衛生学講座、日本大学松戸歯学部国際保健部、トンガ国立 Vaïola 病院に感謝いたします。